

平成12年度第2回幹事会報告

2000年7月13日

於：淀川キリスト教病院

[報告・協議事項]

事務局（総務・会計）：(1)第76回近畿地区医学図書館協議会例会（4/28 北野病院）に事務局長（小田中徹也）が出席。地区会員および病図協事務局長が参加するメーリングリスト「jmla-kinki」を設置。サーバーと管理は大阪医大が提供。(2)第71回日本医学図書館協会総会（5/18-19 秋田）に事務局長（小田中徹也）が出席。新会長には金澤一郎氏（東大）が選出された。(3)東海地区医学図書館協議会へ総合目録の書誌データの受け渡し。データはサンメディアから直接渡し、「受け渡し書」と「条件に同意しての受け取り書」を交換することになる。(6/16) (4)目録編集部：「現行医学雑誌所在目録2000年版」のデータ提出案内（6/20）。(5)会誌編集会議（06/23 名古屋市ホテル・アソシア）編集部員5名と事務局長出席。(6)JMLA第7回医学図書館員基礎研修会（8/23-25 埼玉県立大学研究研修センター）の開催案内。(6/23) (7)日本図書館協会第86回全国図書館大会（10/25-27 那覇市）の開催案内。(6/27) (8)第7回共同事業運営会議（7/8 聖路加）病図協からは首藤佳子、須井麻由美、小田中徹也が出席。（報告内容については省略）(9)研修部勉強会の開催案内（7/5）。(10)著作権プロジェクトチーム企画会議（7/13 淀キリH）、山室真知子、首藤佳子、林伴子、小田中徹也が出席。(11)全国患者サービス連絡会へ、会誌掲載論文3件の「患者さんへの図書サービスハンドブック」への転載了承。(7/13) (12)会員退会：西陣病院（京都）、新千里病院（大阪）、健生病院（青森）

研修部：第7回勉強会（7/27 淀川キリスト教病院）、第8回勉強会（8/10 阪和記念会館）、第9回勉強会（8/16 済生会兵庫県病院）の開

催案内について報告。また、25周年記念行事や見学会、研修会の今後のスケジュール予定を会員に案内したことが報告された。

会誌編集部：会誌編集部：19巻4号の発行経過報告。20巻1-2合併号の編集経過報告。印刷所の変更。投稿規程の改定。その後、8月上旬に発行済み。この中で、印刷所変更にともなう作業の遅れと、編集部員の不足による編集作業量の過重が発行に影響していることが指摘され、打開策が望まれた。別冊「わかる医学用語」濱口恵子著の発行企画と編集経過報告。

統計調査部：集計作業については外部委託が要望された。

目録編集部：これまでに発行された目録の保管場所対策として、サンメディアへの残量確認、病図協資料の保管を委嘱している星ヶ丘厚生年金病院への保管余裕の確認などが検討された。なお、今年度の所在目録については10月発行を目標に準備を進めていることが報告された。

[協議・決定事項]

(1) 創立25周年記念事業について

平成12年10月28日、京都市国際交流会館において開催することにし、5月10日、会場へ使用申込みの手続きを済ませた。企画内容のうちシンポジウムについては、著作権プロジェクトチームが立てたプログラム構成に沿ってシンポジストの依頼交渉をすることにした。記念講演については事務局に一任された。また、ポスターや記念グッズについても作成する方向でいくことにした。

(2) 協議会パンフレットの作成について

各事業部門から箇条書きの要点を提出してもらい、それを基にまとめる。

(3) 協議会活動・事業運営における会員の協力

について

会長から会員施設長宛に病図協活動への協力について要望書を出してもらうことにした。

(4) 第3回幹事会は10月5日に、国立京都病院において開催する。

「第7回共同事業運営会議報告書」について

第3回幹事会において「第7回共同事業運営

会議報告書」が事務局長より紹介され、経過説明があった。その結果、不穏当な表現を含んだ内容および関係者の事情説明やこの報告書に対するその後の病図研内の動向を基に判断して、正当な会議報告書とは認められない。したがって、次回の共同事業運営会議においてこの報告書に対する病図研側の考えを聞き、納得のいく報告書を再作成してもらう。それに同意を得られない場合は、両会の共同事業については再考する。との結論になった。

医学書の厚生社

〒530-0003 大阪市北区堂島3丁目2番7号

■電話 06-6451-3711 ■ファクス 06-6451-3771
ご注文は ■電子メール：koseisha@yo.rim.or.jp
■ホームページ：<http://www.kose-sha.co.jp/>
(ホームページで過去3年の雑誌の特集を検索出来ます)